

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：公害対策費

事業名 超深地層研究所等環境保全対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境管理課 環境安全係 電話番号：058-272-1111(内2985)

E-mail：c11264@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 45 千円 (前年度予算額： 82 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	82	0	0	0	0	0	0	0	82
要求額	45	0	0	0	0	0	0	0	45
決定額	45	0	0	0	0	0	0	0	45

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

瑞浪超深地層研究所は、瑞浪市において高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発のうち、深地層の科学的研究(地層科学研究)を令和元年度末まで行っていた。

令和2年度以降の超深地層研究所計画(以下「計画」)において、令和4年1月までに埋め戻しと実証研究を終了し、モニタリング後、令和9年度末までに用地の整地を行い、全ての作業を完了することとしている。

引き続き瑞浪超深地層研究所の放流先河川水の行政検査を行うとともに、超深地層研究所の活動に関する情報収集に努め、周辺地域住民の生活環境の保全を図る必要がある。

(2) 事業内容

【放流先河川水の測定】

環境保全協定にある日本原子力研究開発機構の自主検査項目の確認のため、県及び瑞浪市でそれぞれ1回ずつ測定を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	9	水質測定業務旅費
需用費	36	保健環境研究所分析用薬品費
合計	45	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

日本原子力研究開発機構は、令和4年1月までに埋め戻しと実証研究を終了し、モニタリング後、令和9年度末までに用地の整地を行い、全ての作業を完了することとしているため、その間の環境保全対策業務として調査経費等が継続して必要となる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

瑞浪超深地層研究所の事業活動が完了するまで、瑞浪超深地層研究所周辺の放流先河川水を継続して監視することにより、周辺住民の不安解消を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①放流先河川水 管理目標値適合 率		100%	100%	100%	100%	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	瑞浪超深地層研究所からの放流先河川水についての行政検査を令和4年6月21日に実施した。 行政検査結果は「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定」に定めた自主管理基準に適合しており、公表を行うことにより、周辺住民の安全・安心の確保につながった。
令和 5 年度	瑞浪超深地層研究所からの放流先河川水についての行政検査を令和5年6月16日に実施した。 行政検査結果は「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定」に定めた自主管理基準に適合しており、公表を行うことにより、周辺住民の安全・安心の確保につながった。
令和 6 年度	瑞浪超深地層研究所からの放流先河川水についての行政検査を令和6年5月21日に実施した。 行政検査結果は「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定」に定めた自主管理基準に適合しており、公表を行うことにより、周辺住民の安全・安心の確保につながった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	研究所が行う事業がすべて完了するまで、放流先河川水については継続して監視する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	行政検査結果から研究坑道の埋め戻し後も環境影響がないことを確認できている。また、行政検査結果を公表することにより、周辺住民の安全・安心の確保に寄与している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	県及び瑞浪市で行政検査をそれぞれ1回ずつ実施しており、役割分担により、効率化は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 研究所の事業活動の終了(令和9年度末)まで放流先河川水について、瑞浪市と連携して継続して監視していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 周辺住民の安全・安心の確保のために監視を継続する。また、周辺住民への情報発信により、理解を得るよう努める。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】